

大和を掘る！ 最新の発掘調査をふまえて論考！

考古学を中心に、周辺分野の専門家を交えた学際的な執筆陣！

かしはら
**橿原考古学
研究所論集**

発掘調査の最前線

第17

奈良県立橿原考古学研究所 編 創立 80 周年記念論集

2018 年 9 月刊行予定 [5 年毎刊行・定期予約も受付いたします]

■ A4 判 ■ 280 頁 (予定) ■ 上製本 ■ カバー装 ■ ISBN978-4-8406-2228-8 C3320
■ 定価 (本体予価 22,000 円 + 税)

目次

カラー口絵 中西遺跡弥生時代前期水田遺構と現代の水田／飛鳥宮跡出土の海老錠／興福寺跡出土将棋駒

空間

稲村達也 日本における初期水田の構造と湛水機能の時空間的変異—秋津遺跡の事例解析から—
岩越陽平 摂津地域の庄内形甕生産に関する予察
橋本裕行 日本における先史から古代の広場—
一人々が集う場 (広場) の考古学—
奥田 尚 畿内における竪穴式石槨の石材・石棺材の変遷
石野博信 3 世紀の宗像・沖ノ島と大和・三輪山
菅谷文則 古墳時代研究と埋没・削平古墳
田中晋作 今城塚古墳と新興中小規模古墳の動静
森岡秀人 「原畿内」領域西辺の特異な古墳・三題
河上邦彦 新沢千塚を考える
泉 武 前期難波宮孝徳朝説の検討
重見 泰 難波長柄豊碕宮から後飛鳥岡本宮へ
入倉徳裕 飛鳥寺北方における条里地割の再検討—
「八釣道」古道説に関連して—
山田隆文 東アジアの都城遺跡と世界遺産

ひと

蘇 哲 山西省忻州市九原崗北朝墓群 1 号墓の年代と被葬者について
西本昌弘 飛鳥河の傍らの嶋家・嶋宮 (岡宮) と飛鳥河辺行宮—2 人の皇祖母命の居所とも関係して—
森下恵介 「山岳寺院」の成立
東野治之 信貴山寺資財宝物帳—翻刻と覚書—

田中久夫 天孫降臨と日向と隼人と—
なぜ日本の歴史は日向から始まるのか—
茂木雅博 常陸における弥生時代の紡錘車
本村充保 田下駄は農具といえるのか—
分布状況からみた田下駄の用途に対する予察—
北井利幸 土器炉の検討—
近畿地方の鎔銅技術の基礎的研究 (II) —
泉森 皎 長方墳から双方墳へ—
河内二子塚古墳の築造の背景—
坂 靖 ヨモツヘグイと渡来人
中野 咲 韓式系羽釜と移動式カマドからみた日韓交渉の—
一様相—尼崎市平田遺跡・吹田市五反島遺跡出土資料を中心に—
絹島 歩 陶棺と土師氏

装飾

三船温尚 同形三角縁神獸鏡 3 面の鑄造・研磨・装飾性—
黒塚古墳出土 2 号・27 号・33 号鏡の程度評価による生産状況の一考察—
水野敏典 倭鏡と仿製三角縁神獸鏡における挽型使用形態の検討
清水康二・宇野隆志 三角縁神獸鏡製作技術把握への小考—
挽型共有説の検証—
高木清生・奥山誠義 大谷今池 2 号墳出土の繊維痕跡
大西貴夫 葛城地域における飛鳥時代後半の軒瓦の展開
東 潮 徳興里古墳壁画図像の系譜関係
豊岡卓之 弥生時代の巫覡小考
岡崎晋明 「戈と盾をもつ人物」像の弥生絵画

付載：奈良県立橿原考古学研究所 5 年間の主な歩み

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 TEL 03-3291-2961 FAX-6300
<https://catalogue.books-yagi.co.jp/> 【詳細書誌情報有】 *消費税を別途頂戴します